（西暦）　　　　　年　　　月　　　日

**症例報告を含む医学論文、学会・研究会における学術発表審査申請書**

名古屋第一赤十字病院　院長　殿

個人情報保護法及び「症例報告を含む医学論文及び学会・研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」、「利益相反管理業務手順書」、その他の関連指針を遵守し、症例報告を含む医学論文、学会研究会における学術発表を行いますので審査をお願いします。

申請者（発表者）

所　　属　　　　　　　　　科（部）

職・氏名　　　　　　　　　　　　　㊞

連絡先（内線もしくはPHS番号）：

所属長確認印　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

（申請者と同じ場合は不要）

1　課題名

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

2　学術発表を行う学会名又は主催者名・団体名、または論文・著書等の投稿又は出版予定の雑誌名・出版社名

3　学術発表、論文・著書等の投稿の予定日

　　　　（西暦）　　　　　年　　　　月　　　　日　　　予定

4　学術発表の要旨（別添可）

5　審査に供する資料

添付資料1　　〔　　例　資料のタイトル　“抄録”　　　〕

添付資料2　　〔　　例　資料のタイトル　“スライド原稿”　　　　〕

添付資料3　　〔　　例　資料のタイトル　“患部画像”　　　　　　〕

添付資料4　　〔　　例　資料のタイトル　“図表”　　　　　　　　　〕

6　以下に関する内容について、該当箇所にㇾを入れてください。

1）　審査の対象となる症例を用いた学術発表は以下に該当します。

* 倫理審査承認済みの臨床研究（介入研究等）の発表である
* 特定の患者にかかる診療情報（症例）の発表である
* 保険適応外医療について行った学術発表である
* 上記に該当しない発表である

2) 学術発表について患者への説明および同意の取得方法

* 文書または口頭により説明し、文書にて同意を得ている
* 文書または口頭により説明し、口頭で同意を得ている
* 文書または口頭による説明のみを行っている
* 説明も同意取得もしていない

3）　患者情報の公開における患者プライバシーの保護は以下の措置を講じています。

* 公開する原稿、画像等に患者個人を特定可能な氏名、患者番号、イニシャルまたは「呼び名」は含まれていない
* 他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定されることはない
* 顔写真を提示する際には目を隠す等、患者が特定されないような画像の工夫をしている
* 症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除している
* 画像データを用いる場合、表現される画像以外に個人を特定する情報が含まれていない
* 個人情報の保護に対する配慮を尽くしても個人が特定化される可能性がある場合、個人情報の公開に関する同意を本人から得ている

4）　学術発表についての利益相反は、以下のとおりである。

□　利益相反自己申告書を提出済みである

□　利益相反自己申告書を作成中である

（承認の条件となりますので、提出後の承認となります）

□　非該当である（以下に理由を記載してください）